

『和牛の改良と選抜』について研修会を開催しました (R元. 12. 19~20 岐阜大学美濃加茂農場)



黒毛和種の改良と選抜の講義



岐大農場での和牛審査標準の研修

<概要>

・令和元年12月19日(木)と20日(金)、公益社団法人全国和牛登録協会から2名の講師をお招きし、『黒毛和種の改良と選抜』と題して研修会を開催しました。

・19日(木)は、岐阜県国際園芸アカデミーにおいて、飛騨牛のお母さんとなる繁殖雌牛の交配造成方針と和牛肉の脂肪中に含まれる一価不飽和脂肪酸(MUFA)について、岐阜大学と農大の学生、県立加茂農林高等学校の生徒さんら約30名が聴講しました。

・今までは、和牛の改良というと脂肪交雑(サシ)を増やすのが主で、農家さんの努力もあり十分過ぎるほどのサシが和牛肉に入るようになりました。一方、これからは消費者の嗜好に合わせて、おいしさ成分の一つといわれる一価不飽和脂肪酸の量を増やすことにより、よりおいしい牛肉生産に向けた改良に重きが置かれるといったことを学びました。

・20日(金)は、美濃加茂市にある岐阜大学応用生物科学部附属美濃加茂農場において、実際に黒毛和種の雌牛を見ながら繁殖和牛の体型に得点を付ける審査標準について学びました。

・学生から講師の先生方に活発な質問をしながら、和牛の見方をわかりやすく学べたようで、『今まで漠然と見ていた繁殖雌牛の見るべきポイントが良く分かった』、『あらためて飛騨牛の定義について考えるきっかけになった。』、『もっと飛騨牛を良くしたいと思った。』などの意見が学生のレポートから見受けられました。

・令和4年に鹿児島県で開催予定の第12回全国和牛能力共進会に向けて、岐阜県内でも共進会や研修会が今後開催予定で、農大も積極的に参加したいと思えるような研修会となりました。